令和７年７月 24 日

報道機関各位

熊 本 大 学

熊本大学映画研究部撮影班 Qbrick

第２回九州学生映画祭の開催について

本学映画研究部では、学生映画を軸にした交流と継承を通じて、九州の可能性を未来へと繋ぐことを目的として、下記の日程にて、新市街の老舗シアターDenkikan を借用して地域に開かれた形で「第 2 回九州学生映画祭」を実施致します。本映画祭は、昨年度同様、本学映画研究部が主体となり企画運営しております。特に今年度は高校生や一般の方への積極的な広報活動を行っていく予定です。本映画祭をきっかけとして、新たに高校生との繋がりを深め、地域の発展と共生社会の一助となることを目指し、制作映画の発表の場を設けることで、学生映画の制作意欲の向上に繋げていきたいと考えております。当日は熊本出身の映画監督である行定勲監督をお呼びする予定となっております。

また、映画祭の開催に伴い、各参加大学間の交流を促進するため、熊本大学にて「第２回九州学生映画祭参加大学事前交流会」を実施致します。

つきましては、本映画祭の周知と学生映画発展の理解啓発のため、事前の告知方、当日の取材方、よろしくお願いいたします。

記

〈第２回九州学生映画祭〉

【 日　　時 】令和７年9月15日（月・祝）17:00-21:00

【 場　　所 】Denkikan（〒860-0803 熊本県熊本市中央区新市街８番２号）

【 主　　催 】熊本大学映画研究部

【 参加大学 】九州内六大学の映画制作サークル（熊本大学、北九州大学、九州大学、九州産業大学造形短期大学部、佐賀大学、長崎県立大学）

【来場対象者】一般の方

【 入 場 料 】1000 円

【スケジュール】映画祭当日のスケジュールに関しては、8 月下旬を目途に公式 Instagram にて公開する予定となっております。

【 そ の 他 】Qbrick の活動については、別紙をご参照下さい。

〈第２回九州学生映画祭参加大学事前交流会〉

【 日　　時 】令和7年８月 11 日（月･祝）14:30-16:00

【 場　　所 】熊本大学黒髪北地区 くすのき会館レセプションルーム

（〒860-8555 熊本市中央区黒髪２丁目 40 番１号）

【スケジュール】

14:30 実行委員長挨拶

第２回九州学生映画祭のテーマ･詳細発表

後援団体･協賛企業の紹介

14:45 各団体代表者自己紹介

14:55 映画祭に関しての意見交換会

15:30 記念撮影

【お問い合わせ先】
熊本大学映画研究部撮影班
Qbrick
九州学生映画祭実行委員会
代　表:園川 凌真
TEL:080-2575-4230
Mail:info@ksff.jp
九州学生映画祭公式
Instagram:@ksff__official

【連絡表】

熊本大学映画研究部撮影班 Qbrick

第２回九州学生映画祭/参加大学事前交流会

〈第２回九州学生映画祭〉

【 日　　時 】令和７年９月 15 日（月・祝）17:00-21:00

【 場　　所 】Denkikan（〒860-0803 熊本県熊本市中央区新市街８番２号）

〈第２回九州学生映画祭参加大学事前交流会〉

【 日　　時 】令和７年８月 11 日（月・祝）14:30-16:00

【 場　　所 】熊本大学黒髪北地区　くすのき会館レセプションルーム

（〒860-8555 熊本市中央区黒髪２丁目 40 番１号）

貴社名	
回答者	ご芳名： ＴＥＬ： ＦＡＸ： E-mail：
出席	**□第2回九州学生映画祭（　　名出席）** **□第2回九州学生映画祭参加大学事前交流会（　　名出席）**

※恐れ入りますが準備の都合上、第2回九州学生映画祭参加大学事前交流会へのお申し込みは8月8日（金）17時までに送信くださいますようお願いします。（第2回九州学生映画祭の参加は9月5日（金）17時まで受け付けております。）

熊本大学映画研究部 宛

E-mail 送信先：info@ksff.jp

熊本大学映画研究部撮影班

QBRICK

熊本大学映画研究部撮影班Qbrickは、1965年に創立された歴史あるサークルで、
熊本大学の公認文化系サークルの中では最も長い歴史を持ちます。

コロナ禍によって一度は活動が途絶えましたが、2022年度から本格的に再始動しました。
当初は数名だったメンバーも、現在では約40人にまで増え、活発な制作を行っています。

私たちは、監督、脚本、カメラ、音声など、
映画制作に関わるすべての工程を基本的に部員のみで手がけています。
最近では、映画に限らず、映像制作全般や外部からの依頼にも対応するなど、
活動のフィールドを大きく広げています。

活動内容

2024年度は、サークル活動として様々なジャンルの映像作品を計7本制作しました。完成した作品はすべてQbrick公式YouTubeに掲載しており、自由にご覧いただけます。
撮影場所は学内にとどまらず、
長期休暇を活用して撮影合宿を行い、
昨年の夏は壱岐島、冬は大分など、九州各地へ遠征し、ロケーションにもこだわりながら制作に取り組みました。
各作品には、監督をはじめとする部員たちの個性が色濃く反映されており、こだわりを持ちながらも楽しく撮影に取り組んでいます。

紫熊祭

私たちは、熊本大学の文化祭「紫熊祭」にも毎年力を入れています。
屋内企画では、制作した作品の
上映会や、撮影に使用した小道具・機材の展示、自作ステッカーやパンフレットの販売などを行っています。
屋外では、伝統の立て看板を制作して集客を図り、屋台での飲食物販売によって、撮影費や機材購入費を自分たちでまかなうことを目指しています。
多くの方に活動を知っていただくきっかけにもなっており、毎年あたたかいご好評をいただいています。

制作風景

Qbrickの活動は年々広がっており、部員数も着実に増加傾向にあります。それに伴い、組織体制も柔軟に変化させています。
商業映画の制作スタイルを参考にしつつも、学生ならではの視点から、自分たちなりの形で取り入れています。
プリプロダクション(企画・準備)の充実によって撮影効率を高め、ポストプロダクション(編集・仕上げ)では専門性を意識し、より質の高い作品づくりを目指しています。

学生映画×地域

元県庁職員の依頼で始動した美里町のまちおこし映像制作では、
10か月にわたって現地での取材・撮影を行い、地域の魅力と住民との絆を丁寧に記録。
上映会も盛況で、地域貢献として高く評価されました。

熊本自動車学校(KDS)からの依頼による常設CM制作では、職員やその家族が出演し、
サークルにとっても実りある挑戦となりました。

さらに現在は、よさこいチーム「肥後真狗舞」と協力し、11月の「テレどまつり」への応募に向けた作品を
共同制作中。学生と地域の連携と映像の可能性を広げる貴重な機会となっています。

九州学生映画祭

9月15日(月・祝)
Denkikan

九州学生映画祭
KYUSHU STUDENT FILM FESTIVAL

九州学生映画祭とは、九州で映画制作に取り組む大学生が一堂に会し
自主制作映画を上映する映画祭です。

コロナ禍の影響により、多くの歴史ある映画制作サークルが活動の停止や
技術の継承が途絶える事態に直面していました。
そうした中、学生間の交流を通じた技術向上と、学生映画文化の振興を目的として
昨年度、熊本大学映画研究部が中心となり「九州学生映画祭」を立ち上げました。
第1回には九州各地から5大学が参加し、
来賓として映画監督・今泉力哉氏を招くなど各団体にとって貴重な経験となりました。

今年も昨年に引き続き、第2回九州学生映画祭の開催を予定しています。
「学生映画を軸とした交流と継承を通じて、九州の可能性を未来へとつなぐこと」
それが本映画祭の理念です。

将来的には、学生映画界にとどまらず、商業映画の世界とも相互に刺激を
与え合えるような、地域に根ざした映画祭へと発展させていきたいと考えています。

KUMAQBRICK
Qbrick
公式 X

KUMAQBRICK
Qbrick
公式 Instagram

FOLLOW FOR MORE

KSFF_OFFICIAL
九州学生映画祭
公式 X

KSFF_OFFICIAL
九州学生映画祭
公式 Instagram